

INFORMATION

展覧会搬入直後のランダムなおしゃべり企画!!

「それからの人形達展」ミーティング

技術や作品のなんでも相談・交流会
11月27日(月) 14:30～17:30

「それからの人形達展」の搬入・飾り付け直後の会場で、出品者や招待作家の皆さんと実作品を見ながら自由に質疑応答して頂けます。**自作品持ち込みでの交流大歓迎**です(臨時展示台を用意します)。参加者には名札をつけて頂きます。
「ここはどうやって作ってるのかな」「私の作品に足りないところがあるかな」「方向性って何?」「このやり方であっているかな」「面白い技法を見つけたので披露したい!」等々なんでも・・・
どなたとでも技法や表現での悩み、作品の講評など自由に交流なさってください。うまくお相手を探せない方は、コヤーラスタッフがお手伝い致します。
ミーティングが終わりましたら、近くの会場で懇親会を行います。

このミーティングは非公開で開催致します(一般開場はしません)。ご入場にはコヤーラクラブ入会と事前登録、参加費ご入金が必要になります。

- ・ミーティング&懇親会セット 参加費 4500円
 - ・ミーティング(14:30～17:30)のみの参加費
コヤーラ・クラブ会員 2000円 一般 3000円
- ※懇親会のみのお参加は受け付けておりません。

お申込受付期間 10月1日～10月31日

お申込方法

メール・お電話・ファックスで事務局まで「お名前」(作家名とお振込名義・同伴の方がいらっしゃる場合は同伴者名も)と「電話番号」「申込内容」をお知らせの上、参加費を下記までご送金ください。

送金先

ゆうちょ銀行 普通 〇〇八店 28692 チーム・コヤーラ
(記号番号:10020-286921)

※やむを得ない場合以外のキャンセルはご遠慮ください。11月25日迄に御連絡のないキャンセルはご返金致しかねますのでご了承ください。

連絡・お申込先

189-0003 東京都東村山市久米川町 3-27-57 羽関オフィス内
チーム・コヤーラ事務局
TEL 042-395-7547 FAX 042-395-7975
email team_koyaala@yahoo.co.jp

こちらはチーム・コヤーラ初めての企画です。

この趣旨に賛同して下さった招待作家の方々が、会場で皆様のご質問をお待ちしております。ぜひ御参加ください!

参加作家(「それからの人形達展」に展示出品もします)

つじとしゆき、山吉由利子、長谷川裕子、上野延子、矢部藤子、井桁裕子、影山多栄子、高橋操、水澄美恵子、石田百合、よねやまりゆう(順不同・敬称略)

※ MISOROGI 人形展会場で配布したチラシではミーティングの期日が11月28日(月)となっていますが27日(月)の誤りです。謹んで訂正いたします。

チーム・コヤーラ主催 それからの人形達展

チーム・コヤーラの創作人形公募展の受賞者と「気になる出品者」の1年後の作品を追う展覧会です。(会場での販売・集金は一切ありません。)

2017年11月28日(火)～12月3日(日) 10:00～17:30
(最終日入場 14:30迄)

会場: NHK ふれあいホールギャラリー

(東京都渋谷区神南2-2-1 NHK放送センター内 NHKホール隣)

主催: チーム・コヤーラ

出品者: 招待作家: 上欄参照、チーム・コヤーラメンバー

2016年受賞者 ホシノリコ(チーム・コヤーラ賞)、古城真理(四谷シモン賞)、En(羽関チエコ賞)、deeper-bj(コヤーラ・フェス賞) ほびっと工房・小野由美子・はちす・鈴木久恵・ちやお・原田万紀(以上奨励賞)

2016年入選者(順不同) 尾花智子、伊川まり子、亀島利子、成瀬麻里子、常見一奈、新家智子、Chika、たっきー、細貝まい、福泉久美子 風らい坊、kinoko-doll、ちしたかずよ、広野多衣子、加藤洋子、野原 tamago



左から: deeper-bj「ただいまあへ、おかえりへ」、En「風に向かって」、古城真理「透明感(さくら)」

コヤーラ・クラブ入会条件

入会金なし 年会費: 2000円 (更新時に2年分一括払いの方は3900円となります。)
年4回(1・4・7・10月)のチーム・コヤーラのニュースレターとDM便が届きます。

お申し込み方法

年会費 2000円を以下の方法でご送金ください。
【郵便振替】 通信欄に「コヤーラ入会」とお書きください。
送金先 「口座番号」 00140-7-358370 「口座名」 チーム・コヤーラ
*ご入金を確認できたらチーム・コヤーラよりハガキで受領証と会員証を兼ねたお知らせをお送りし、次の号から「コヤーラ通信」をお送りします。更新時には、有効期限内の最後の号を発行するときに、更新のお知らせを同封いたします。

DM同封希望の方(発行月から3ヶ月の間に展覧会を予定されている方)

事前に枚数などお問い合わせの上お申し込みください。同封DMは発行月の前月20日にチーム・コヤーラ必着でお送りください。
同封料金 コヤーラ・クラブ会員: 2000円 一般(非会員): 3000円

紙上展応募の方

会員の方の人形の自作品の写真を受け付けております。
32号メ切 2017年12月1日(必着)
以下を下記まで、郵送かメールでお送りください。

作品写真 2~3点(全体・アップ・裸形) サイズ: ハガキ大。
「会員番号」「作家名」「タイトル」「素材」「サイズ」他、簡単なコメントなど。
*何点でも応募できますが、誌面の都合上掲載はお一人1点になります。
*応募作品はウェブ上で公開されることもあります。(講評は紙面のみ掲載)
*応募書類は返却いたしません。

個人情報について

頂いた個人情報はチーム・コヤーラの業務委託を受ける HAZEKI office が厳重に管理します。名簿はチーム・コヤーラのニュースレター発送に使用させていただく他、チーム・コヤーラの趣旨に沿ってDMクラブ会員にとって有意義と判断した情報を伝達する以外には一切使用せず、チーム・コヤーラ以外の第三者が閲覧、使用することは一切ありません。

各お申し込み・連絡先

チーム・コヤーラ
東京都東村山市久米川町 3-27-57 HAZEKI office 内
TEL 042-395-7547 (担当 ハゼキ)
FAX 042-395-7975
URL <http://koyaala.jp/>
Email team_koyaala@yahoo.co.jp

KOYAALA 通信 編集責任者 羽関チエコ(HAZEKI office)

©KOYAALA TSUSHIN 2010, printed in Japan 本紙記載の記事・写真の無断使用・転載を禁じます。



KOYAALA 通信 No.31

Oct. 2017



「KOYAALA 通信」は、チーム・コヤーラがコヤーラ・クラブ会員に発行するニュース・レターです。年4回発行 発行日(予定) 1月1日、4月1日、7月1日、10月1日



第3回 MISOROGI 人形展から

伝統民俗と創作、国内と国外、地理と歴史を超えて60名あまりの作り手とともに人形の不思議や魅力の原点を探る展示に挑む MISOROGI 人形展。チーム・コヤーラと共に試行錯誤のなか3回目の今回、手探りの状態からは少し前進できたように思えました。(文 羽関チエコ)

私が1990年代に人形の仕事に関ったのは創作人形の面白さ、表現の自由さに惹かれたのが理由でした。しかし最近の創作人形展では人気の傾向が定着化してきたことから、主に固定ポーズやオブジェ的な作風の居場所が狭まってきているように感じています。

量産の人形は仕様の違いや記号的な意味合いを楽しんだりしますが、創作人形も作者名や作風、技法といった記号で評価される傾向が出てきているように思います。それが窮屈な感じがして、MISOROGI 人形展ではその傾向に風穴を明け、人形そのものを楽しむための人形展に取り組みたいと思いました。

今回はサブテーマを「人形の不思議 人形のやさしさ」と謳いました。会場にいて、その不思議やさしさの理由は、人形の原点が「祈り」と「遊び」であることからなのではないかと考えるようになりました。

それは人形を初めて見るようなお客様にはよく伝わったようです。一般のお客様から「初めてこういう展覧会を見たけど、とても面白かった!素晴らしい!」という声が何度も聞かれました。また人形作家の方々からも面白い、ホッとするという言葉を聞きました。「異種の人形をこれだけ並べているのに違和感を感じない」という感想も、嬉しく思いました。それは異種の人形たちの間に共通言語があったからでしょう。

一方、このように内容についてありがたい評価を頂いたことに対して、出品者からは販売成績がついてこないもどかしさを訴える声も聞こえました。これは主催者として力不足を反省していますが、現在鑑賞用の人形の顧客を開拓するのは、特に首都圏では難しいものがあります。一般的に住宅と経済に余裕がなくなっているから、小さなものからコレクションを始めていただき、ファンを増やす努力が必要になってきました。また、鑑賞用の人形では作者の技術やクオリティ、素材選びに掛けられた思い、制作の背景などを読み取る感性が受け手に求められるので、新規に創作人形を販売までこぎ着けるハードルは高いといえます。しかし、今回の展示ではそういう新しい縁をいくつか目撃し、市場に小さな芽生えのような希望を感じることができました。

このように現場は厳しかったり難しかったりしますが、そこをフツと軽やかに走り抜けるのが郷土人形の存在でしょう。大人の遊び心や、無意識の次元にも訴えるものがあります。価格もこなれデザインも洗練されている。今風なセンスでお洒落だし、縁起物でもある。創作人形作家が一代限りの時間でその境地に達するのは至難の業です。

しかし西村 FELIZ さんは「創作人形の価格破壊」に挑戦して、アステカの創作郷土人形を作り好評を得ました。月光社のつじとしゆきさんは昨年に続く「偶像崇拜」のシリーズで、量産を前提にした技法でテラコッタの美しい少女たちの人形に聖と俗を同居させるという面白い試みをされています。

一方、郷土人形でも岩手のさわはん工房の澤藤範次郎さんはこの企画のために限定制作の新作を発表、現代の郷土人形を模索されました。伝統を残すべく愛好家から継承者に転じた古型今戸人形の吉田義和さんは、自ら掘り出した東京の土を使って制作をする一途さとユーモアで創作人形の間でもじわじわとファンを増やしています。

他にも抽象、アニミズム、素朴さ、玩具性、伝統など国内外60名あまりの作り手の取り組みについてご紹介しきれないのですが、出品作家の石田百合さんが寄せて下さった感想が全体的特徴を語ってくれていると思うので、引用させていただきます。

「それぞれの人形は、それぞれの密度を持ってそこにいるんだなと感じました。
その密度が周りの空気を震わせて、空気感がみな違う、ことが多種多様な人形たちが並ぶ中で浮かび上がってくるように感じました。」

MISOROGI 人形展ではチーム・コヤーラ公募展からの出身者もプロと並んで活躍するようになっていきます。来年は来年秋の MISOROGI 人形展向けに公募枠を設けることも検討しています。
一緒にこの人形展を見守り育てて頂ければ幸いです。

9月13日に会場から生中継された放送がYouTubeでご覧になれます。
「UCHIDA TV」で検索
YouTubeのチャンネル「vol.270 みそろぎ人形展より生放送!」
<https://youtu.be/YvK2S1sqBcM>

MISOROGI 人形展

丸善丸の内本店ギャラリー
2017年9月13日～19日



ささやかなモノたちが命を得て人形になっていく「きざし」を演じた出品者の石田百合さん。「みそろぎ展のなかで」演じることを前提に生まれたパフォーマンスだったそうです。



吉田義和「丸メ猫（昭和戦前風）」



月光社「偶像崇拜」祈るように見つめているのはスマートフォン



ハイチェンコ・ディナ（ロシア）綿と糊で作るロシアの郷土人形を創作に展開



西村 FELIZ
「CALENDARIO」
アステカ暦の誕生日による運命をキャラクターにした。各人形に説明書きもつけた。



くるはらきみ「湧水の精」



シルス「猪八戒」（右）ほか



さわはん工房「狐の嫁入り」3点限定制作



ホフロヴァ・マヤ（ロシア）
「少年」（左）「Rosa」（右）



ミヤタケイコ「シロクマ」 北海道の木彫り熊への敬愛から生まれたポップな木彫りの熊



水木ゆかり（ままと森）「鬼子母神」

Fantasy Doll's Summer Festa 三輪輝子工房スタッフ & 教室生徒作品展

創作ビスクドールの第一人者、三輪輝子さんのミュージアム「創作人形館ミワドール」で特別展が行われました。



工房スタッフ展「Animal x Doll」



『妖精』土屋博史 3D プリンターで制作



三輪輝子

出品したのは工房スタッフ、教室生徒 & OB、OG 総勢 16 名で、ビスクドールをはじめ、石粉粘土や 3D プリンターを使った人形を展示しました。どの作品もレベルが高く、生徒作品と聞いて驚かれるお客様が多くいらっしゃいました。また、工房スタッフが謎解きクイズを作り、人形を鑑賞しながら、お客様から大人まで楽しめるイベントも企画しました。謎を解い

た方には景品も用意しており、お客様には夢中になって楽しんでいただけたかと思います。

このような機会がありましたら、今後もまた開催したいと考えております。

（三輪輝子）

2017年8月11日～8月31日 創作人形館ミワドール（静岡県伊豆高原）

個展を終えて

原田万紀

原田万紀個展 mellow line —なめらかな曲線美—

公募展や企画展の作品制作に身を置き個展からは遠のいていたところ、思わぬ風が吹きその風に乗ることにしました。7年ぶり3回めの個展は風情のある「ならまち」のギャラリー。開催まで3カ月の準備期間で、前個展以降に制作した人形、レリーフ大小を交えて80点余りの展示となりました。タイトルは「mellow line」柔らかな、滑らかな、豊満などを表す mellow に、女性の表面を辿る line。DM のデザインから展示の配置などをやっているうちに、3カ月はすぐに過ぎました。

空梅雨の炎天が続く中、たくさんの方に来ていただき、またその方々が次の人を運んでくださる幸運に恵まれました。「女ってやっぱりいいよねー！」と楽しまれている様子を見ると本当に嬉しい。何度も何度も行き詰まり劣等感に苛まれ先の見えない人形制作を何故やっているのだろうと悶々と過ごす中で、ある時ぱっと抜ける瞬間があって、楽しくて楽しくて仕方がないときが来る。笑顔でご覧になっている方々とその「楽しい」を分かち合っているんですね。作品を通してホッとする、癒されるなど感想をいただくと、こちらの楽しさや思い入れがそのまま伝わっていることを感じます。

自分本位になるところを大勢の目を通して見えてくること感じることは数多く、展示会をして多様な言葉を頂くことで、これから作りたいものや方向性が新たに見えてくるように思っています。

2017年7月3日～11日 ギャラリー・サンク（奈良県奈良市）

